

2018年2月28日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市須和田2-12-3
(住所変更しました)
携帯 090-6310-3294
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログ
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員 清水みな子 あおぞらメール No.107



千葉市へ聞き取り調査 国有地に特養ホーム 市川の外環代替地に介護保育施設を



市川市の特養ホーム待機者ゼロをめざす会と市川市議団は、2月2日、千葉市への聞き取り調査を行いました。対応してくれたのは、高齢障害部の鳩川部長。施設整備にかかわり30年ということですから、次々と部署が変わる市川市とは違います。

この間、千葉市は国有地を活用し、2カ所の特養ホームを建設し、3カ所目を建設中ということがわかりました。

千葉市の施設は50施設（民有地44、市有地4、国有地2）です。市有地には、廃校した小学校の校庭部分を使用した施設があり、校舎はふれあいセンターとして使用しています。

国有地の3カ所目は、公務員宿舍跡地を活用した特養ホームと障害福祉サービス事業所、保育園と複合施設を整備しています。さらに、特養ホームの少ない地域に国有地を活用して整備することを市が意識的計画的に行っていることです。市川市との違いを垣間見ることができました。

写真は「特養ホームアルマ美浜」。埋め立て地である美浜区は施設が少ないことから、市が国有地に作るうと、財務局とも話し合い、整備できました。

市川市は12施設ゼロの会は、曾谷にある外環代替地（国有地）を活用して、特養ホームと保育園をと、署名活動を行い、1万6千筆を提出してきました。新しい署名用紙も作成し、年金でも入れる特養ホームの増設をめざします。

ギャンブル券売り場に反対

本八幡駅前公営ギャンブル券売り場はいろいろなと、署名活動をすすめている「ギャンブル券売り場に反対する会」は、2月3日、2回目の市民集会を開きました。

「計画を止めるためには何をすればよいのか」「環境を維持する会が署名活動をはじめたが、この会との関係は」など意見が出されました。

まだ計画を知らない住民がいるので、知らせて署名をお願いするのがよいのではないかとこのことになりました。

反対する会の活動報告をおこない、会場発言として女性団体が「子どもたちへの影響も考えてギャンブル券売り場は絶対にいらない」と発言。また「いまだこの段階までできているのか」に止めることになりました。

集会には、この間、経済産業省などの窓口となつてくれた斉藤和子前衆議院議員（写真）と、場外券売り場に反対を表明している市長候補の村越ひろたみ氏も激励に駆けつけてくれました。



集会に先立ち、1月19日、経済産業省に2回目の交渉を行い、「設置許可を出さないように」再度の要請書を担当者に手渡しました。担当者は「その後の動きは聞いていない」とのことでしたが、「書類がそろえば拒むことはできない」とのこと。

設置者が諦めるまで運動を続けることを確認しました。

北西部の改善要望を提出

2月16日、共産党市議



2月16日、共産党市議団の行った市政アンケートで寄せられた北西部(国分・東国分、国府台・中国分、北国分・堀之内)地域の市道、公園などの改善要望をまとめて、市の道路交通部、道路安全課に提出しました。

各地域では、現地調査をして写真を撮り、1項目ずつ説明していきましました。3月中には回答が寄せられます。

「新春のつどい」 2箇所で開催

1月21日、六所神社内の自治会館で、北西部以外の後援会員などが参加し「新春のつどい」を開きました。岡田幸子県議、村越ひろたみ市長候補が挨拶、決意を述べました。私からは市政報告。村越市長を誕生させて、新しい市川、市民にやさしい市川を一緒にと訴えましました。ビンゴゲームなどで盛り上がりました。

1月28日は、小塚山研



修所で、西部地域後援会の新春のつどいを開催し、50人が参加、交流を深めました。緑のまち合唱団の合唱、紙芝居、福引などもあり、楽しいつどいになりました。

村越市長候補は、「がんばろう」を披露、参加者と一緒に歌いました。写真は、西部後援会の「新春のつどい」で、3人がガッツポーズ。

市長選再選挙は4月22日予定



市長選挙と市議補選への異議申し立てに寄り、1月29日、票の数え直しを行いました。国府台体育館には、マスコミ関係者、大勢の市民が見守るなか、行われました。1票の違いはありましたが、ほとんど変わらずでした。市選挙管理委員会が異議申し立てを棄却する決定を行い、これに対して異議申し立てがなければ、市長選挙の再選挙は、4月15日告示、22日投票で行われることになりました。



市民と野党の候補者・村越ひろたみ氏は各地域を訪問し懇談をしています。写真は2月18日、村越さんを囲む北西部のつどい。参加者70人(子ども含む)で成功しました。介護、子育て、環境、空き家対策など、参加者から意見を出してもらい、村越氏が答えるというスタイルで行いました。途中、緑のまち合唱団と歌声で連帯し、村越市長誕生に向けて、北西部地域で頑張る決意を固めました。

◎3月19日(月)
担当 守川幸男弁護士
◎4月12日(木)
担当 高橋 勲弁護士
午後2時から5時まで
相談時間はひとり30分
予約は清水または控え室。

無料法律相談

《主な活動報告 1～2月》

★1月17日～18日 全県地方議員研修会

夏と冬に共産党は全県地方議員研修会を開きます。冬は泊まり込みで17～18日に開催。初めて議員になった方を紹介し交流を深めます。共産党本部がSNSを活用を呼びかけ、県の担当者が報告し2人の議員が活用した効果など話しました。

★2月6日 長寿を祝う会の新年会

6日午後から、市内で長寿を祝う会の新年会が開かれました。毎年、80歳以上の方をお祝いする行事として、治安維持法同盟と共産党市川市後援会の共催で開催されています。戦前戦後を戦い抜いてきた元気な姿に励まされます。



★2月10日 救援会支部大会を開催

10日救援会市川支部大会が開かれました。「弾圧とたたかい」「90周年を迎える救援会」DVDを鑑賞。浦安市や船橋市での弾圧などもあり、救援会の活動が求められていることを確認しました。

★2月12日 治安維持法同盟支部の女性部結成

12日県内で初めて治安維持法同盟市川浦安支部の女性部が結成されました。戦前特高警察に弾圧されながらも筋を通してたたかい24歳の若さで亡くなった伊藤千代子、飯島喜美の生涯などを学習しました。

★2月24日 新婦人市川支部大会を開催

24日新婦人市川支部大会が開催されました。来賓として、市長候補の村越ひろたみ氏が挨拶しました。

